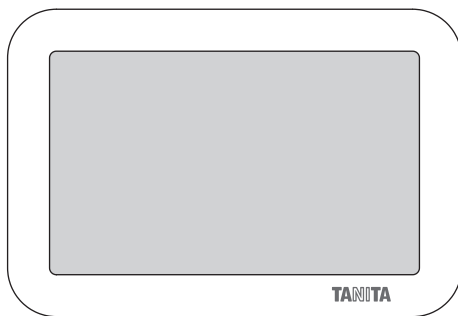


取扱説明書 保証書付

デジタル温湿度計

TT-P03



本書に記載されているイラストはイメージです。

このたびは、デジタル温湿度計をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

お願い

誤った使いかたをしますと、重大な事故につながるおそれがあります。本書をよくお読みいただき、正しく使用してください。また、必要なときにすぐに取り出せるよう身近に大切に保管してください。

デジタル温湿度計について	2
安全上の注意	3
使用上の注意	4
正しいはかりかた	4
お手入れについて	4
各部の名称(本体)／付属品	5
各部の名称(表示部)	6
各部の名称(操作ボタン)	7
電池絶縁シートをはずす	8
電池が消耗したら	8
電池の廃棄について	8
電池の交換	9
標準電波の自動受信	10
電波時計について	11
標準電波の再受信(受信できなかった場合)	12
自動受信のON/OFF	12
バックライトのON/OFF	12
手動で時刻とカレンダーを設定	13
最高・最低温湿度(MAX/MIN)の表示	15
最高・最低温湿度(MAX/MIN)のリセット	15
環境判定	16
アラーム時刻の設定	17
スヌーズのセットとアラームの解除	18
アラームを止める	18
その他の表示	19
操作音のON/OFF	19
故障かな?と思ったら	20
仕様	21
本器の廃棄について	21
アフターサービスについて	22
個人情報の取り扱い	22
保証書	23

デジタル温湿度計について

本器は、大きい表示で温度・湿度が見やすいだけでなく判定バーにより適温・適湿を直感的に把握することができます。また、最高・最低温湿度も表示するため、不在時などの環境も確認できます。

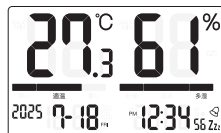
環境判定で適温・適湿を見ることができると・・・

1 体感では気がつきにくい温湿度が直感的にわかります。

小さなお子様やご高齢の方など環境変化の影響を受けやすい方がいるご家庭での温湿度管理にお役立てください。

健康と環境のための温湿度

人が健康的に暮らすためには、快適な環境を作ることが大切です。しかし、環境は天気や地域によって異なり、地球温暖化防止のために省エネにも配慮する必要があります。人がより健康的に暮らすため、次の温湿度を目安として示します。



健康的に暮らすための室内温湿度の目安

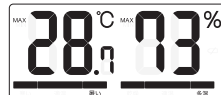
温度	湿度
18～28℃ ※1	40～60% ※2

※1. 出典：アメリカ暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) が発行している ASHRAE Standard 55-2017 Thermal Environmental Conditions for Human Occupancy より PMV と PPD を使って計算しています。

※2. 出典：米国暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) より「健康に最適な相対湿度範囲」

2 就寝中や不在時などの最高・最低温湿度が確認できます。

就寝中や不在時の最高・最低温湿度 (MAX/MIN) もわかるのでペットや植物にとって快適な環境に保たれているかをチェックできます。



※本器は室内環境を測定するものです。測定結果は目安として日頃の環境管理にお役立てください。

安全上の注意

使用する人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を記載しています。ここに示す内容をよくお読みいただき、本器を正しく使用してください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷^{*1}を負うおそれのある」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害^{*2}を負うおそれまたは物的損害^{*3}が発生するおそれのある」内容です。



禁止

してはいけない「禁止」内容です。

※1: 重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3: 物的損害とは、家屋・家財などへの拡大損害をさします。

警告

使用前および使用中に本器に異常が確認されたら使用しない
異常があるまま使用すると、けがや事故が発生するおそれがあります。

乳幼児や子どもの手が届くところに保管しない

乳幼児や子どもだけで使用させない

電池などの小さな部品を飲み込み、窒息するおそれがあります。

また感電やけがをするおそれがあります。

本器や電池を加熱しない

本器の変形や電池の発火により、けがや火災が発生するおそれがあります。



禁止

表示部を押さない

本器が破損して、けがをするおそれがあります。

本器に強い衝撃を与えない

本器を落とす、または本器に物を落とすなど、強い衝撃を与えないでください。

本器が破損して、けがをするおそれがあります。

すき間や穴に指を入れない

けがをするおそれがあります。

測定結果だけで重大な判断やそれに基づく対応などをしてない

本器の測定結果は仕様をご理解のうえ、環境管理の目安としてください。

注意

分解や改造をしない

けがや感電をするおそれがあります。

電池を入れるときは、極性(⊕、⊖)を間違えない

長期間使用しない場合は、電池を入れたままにしない

電池の取り付け、交換はぬれた手で行わない

液もれや発熱、破裂により、けがをするおそれがあります。

液もれなどで、床などを汚損するおそれがあります。

電池の中の液が皮膚や衣服についた場合はきれいな水で洗い流してください。

目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、医師に相談してください。



禁止

物を落としたり、強い衝撃を与えたりしない

本器が破損して、けがをするおそれがあります。

使用上の注意

以下の内容を守らないと本器が破損や故障するおそれがあります。

以下に示すところで本器を保管、使用しない

- ・直射日光のあたるところ
- ・熱を発する器具に近いところ
- ・温度変化の激しいところ
- ・湿気の多いところ
- ・ほこりの多いところ

過度の衝撃や振動を与えない

破損や故障するおそれがあります。

指定の電池以外は使用しない

充電式電池を使用しない

公称電圧が1.2V以下の充電式電池は、本器の動作に必要な電圧が得られないため、誤動作や故障するおそれがあります。必ず指定の電池を使用してください。

アルコールや熱湯、ベンジン、シンナー、漂白剤などの薬品は使用しない

破損や変形、変色するおそれがあります。

本器をぬらさない

防水ではありませんので、誤動作や故障するおそれがあります。

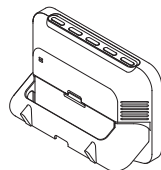
すき間や穴に異物を入れない

破損や故障するおそれがあります。

スタンドに過度な荷重をかけない

スタンドがはずれたり、破損するおそれがあります。

本器を立てて使用する場合は、倒れないようにスタンドを使用する
スタンドは固定されるまで広げてください。



正しいはかりかた

電池を入れて設置してから約30分後に正しい値を表示します。

直射日光や空調の風が直接当たるところには置かないでください。

通信機能付きの機器、電磁波を発生する家電製品、および強力な電磁波のある環境では使用しないでください。

通気口をふさぐと正しい値がはかれなくなりますので、ふさがないようにください。

お手入れについて

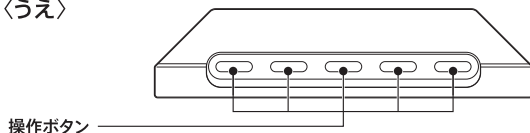
1. 水または中性洗剤に浸して固く絞ったやわらかい布で汚れを落としてください。

2. 乾いたやわらかい布できれいに水分を拭き取ってください。

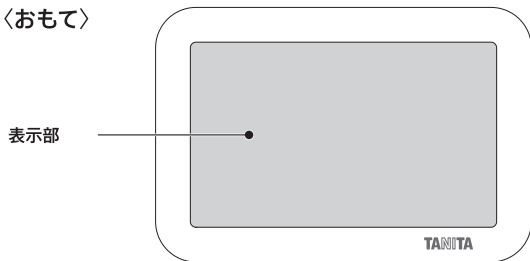
※アルコール、ベンジン、シンナー、漂白剤などの薬品は使用しないでください。

各部の名称(本体)／付属品

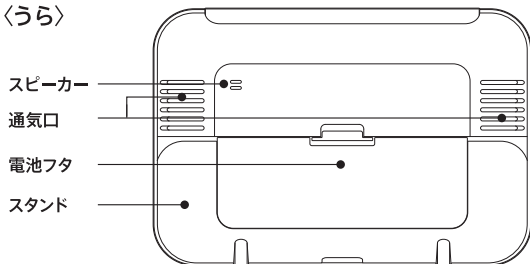
〈うえ〉



〈おもて〉



〈うら〉



付属品

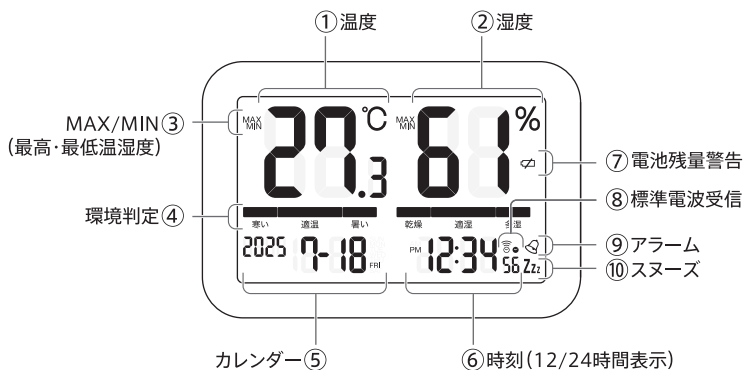
✓ 取扱説明書(本書:保証書付)

□ お試し用電池:単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本

※付属の「お試し用電池」は工場出荷時におさめられたものですので、寿命が短い場合があります。

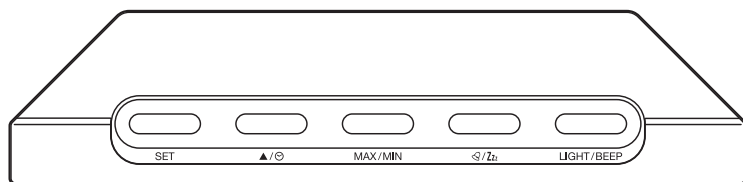
※不足しているものがありましたら、弊社お客様サービス相談室に連絡してください(☎裏表紙)。

各部の名称(表示部)



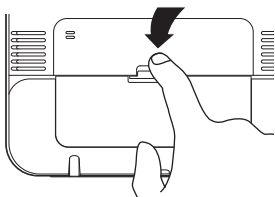
①	温度	⑦	電池残量警告	(P.8、20)
②	湿度	⑧	標準電波受信	(P.10～12)
③	MAX/MIN	⑨	アラーム	(P.17～18)
④	環境判定	⑩	スヌーズ	(P.18)
⑤	カレンダー	—	バックライト	(P.12)
⑥	時刻(12/24時間表示)	—	操作音	(P.19)

各部の名称(操作ボタン)



SET	短押し	設定中の時刻とカレンダー、アラーム時刻の数字などを決定します。
	長押し	時刻とカレンダーの再設定を開始します。(P.13~14)
▲/○	短押し	設定中の時刻とカレンダー、アラーム時刻の数字を合わせます。
	長押し	標準電波の再受信や自動受信のON/OFFを切りかえます。(P.12)
MAX/MIN	短押し	最高温度・湿度、最低温度・湿度を切りかえます。
	長押し	記録をリセットします。(P.15)
◀/Zz (アラーム・スヌーズ)	短押し	アラーム、スヌーズ、セットなしを切りかえます。(P.18)
	長押し	アラーム時刻を表示後、アラーム時刻をセットします。(P.17)
LIGHT/BEEP	短押し	バックライトのON/OFFを切りかえます。(P.12)
	長押し	操作音のON/OFFを切りかえます。(P.19)

電池絶縁シートをはずす



1

本器裏面の矢印で示す部分を押しながら電池フタを開けます。

お知らせ

お試し用電池は電池ボックスに入っています。

2

絶縁シートをはずし、電池フタを閉めます。
「12h」を表示したら▲/⊙を押して「12h」または「24h」表示を選択し、SETを押して決定してください。標準電波の自動受信を開始します。
(標準電波の自動受信 ☞ P.10)

電池が消耗したら

電池が消耗すると、以下のように表示します。

すみやかに新しい電池(単3形アルカリ乾電池×2本)と交換してください。

「」が点滅する

電池が消耗していますので、本器の動作は保証できません。
すみやかに新しい電池(単3形乾電池(LR6))と交換してください。
(電池の交換 ☞ P.9)

お願い

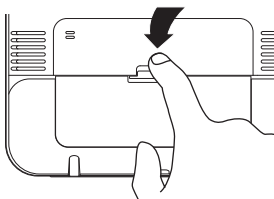
- ・指定の電池(単3形アルカリ乾電池)以外は使用しないでください。
- ・電池は極性(⊕、⊖)を間違えないでください。

電池を交換したときは、再度電波受信を開始します。
(標準電波の自動受信 ☞ P.10)

電池の廃棄について

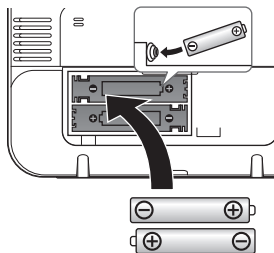
お住まいの市区町村の定めにしたがって、廃棄してください。不明な点がある場合は、お住まいの市区町村に相談してください。

電池の交換



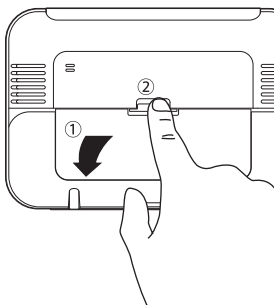
1

矢印で示す部分を押しながら電池フタを開け、電池をはずします。



2

新しい電池の極性(⊕、⊖)を正しく入れます。
電池を入れると表示部が全表示し、「ピピピピッ」と鳴ります。



3

電池フタを閉めます。

- ① 電池フタの裏側のツメ(3カ所)をくぼみに合わせます。
- ② カチッと音がするまで押し込んでください。

温湿度と「12h」を表示したら▲/⊙を押して「12h」または「24h」表示を選択し、SETを押して決定してください。標準電波の自動受信を開始します。(標準電波の自動受信  P.10)

標準電波の自動受信

本体に電池をセットし、12/24h表示を設定すると、標準電波の自動受信を開始します。

お知らせ

標準電波の受信中は温湿度の計測はされません。電波の状況によっては長くなる場合があります。



12/24h表示を設定する

1

電池を入れると「12h」を表示します。

▲/☉を押して「12h」または「24h」表示を選択し、SETを押して決定します。

自動受信を開始する

2

12h表示を選択した場合は「**AM12:00**」、24h表示を選択した場合は「**000**」が表示され、「」マークが点滅し標準電波の受信を開始します。受信に成功すると時刻とカレンダーを表示します。受信に要する時間は最長約20分です。

お知らせ

- ・受信に成功した場合、1日1回毎日午前0時に標準電波を受信します。
- ・受信に失敗した場合、6時間後に再度自動受信します。(1日4回まで)
- ・標準電波を受信できない、または受信が中断されたときは「」マークを表示します。
- ・「」マークを表示しているときは、標準電波の受信待機状態です。本器の向きや場所をかえて▲/☉を押し、再受信させてください。
- ・(標準電波の再受信(受信できなかった場合)  P.12)
- ・「」マークを表示しているときの時刻とカレンダーは、以下のいずれかを表示します。
 - 前回受信が成功した時刻からの経過時刻
 - 手動で時刻とカレンダーを設定している場合、設定した時刻からの経過時刻
 - 受信できず、手動で時刻とカレンダーを設定していない場合、西暦「**20--**」年、日付「**0-0**」、時刻「**AM12:00**」を表示(12h表示を選択の場合)
- ・バックライトの点灯中は電波を受信できません。バックライトの消灯後に電波受信を再開します。

電波時計について

電波時計

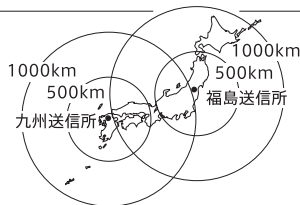
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

標準電波とは

情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ「原子時計」によるものです。

電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所(東・西2カ所)からおおむね1000km～1200kmです。本器は40kHz(東・福島送信所)、60kHz(西・九州送信所)のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



⚠ 注意

- ・電波障害などにより、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、場所を変えてお使いください。
- ・電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。(P.13)
- ・標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。電波に関する情報は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。(裏表紙)

使用場所について

本器は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。使用する際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに置いてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ・ビルの中、ビルの谷間、地下。
- ・高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- ・テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く。
- ・工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多いところなど、電波障害の起きるところ。
- ・乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
- ・携帯電話や電子レンジ、その他の電波ノイズを発生させるものの近く。
- ・スチール机など金属製の家具の上や近く。

標準電波の再受信(受信できなかった場合)

電波受信できなかった場合は「☹」マークを表示します。

このマークは電波受信は失敗したものの、電波受信は可能である状態を表しています。
本器の向きや場所をかえて▲/⊙を長押しして再受信させてください。

お知らせ

- ・夜間は昼間にくらべて受信状態が良好になるため、昼間に受信できなかった場合でも翌日に自動受信できている場合があります。
- ・どうしても受信ができない場合は、手動で時刻とカレンダーを設定してください。
(手動で時刻とカレンダーを設定 ㊦ P.13～14)

標準電波の受信強度について

「☺」マークは、受信の強度によって右記の表示で点滅します。
設置場所の参考にしてください。

☺	☺	☺
弱	中	強

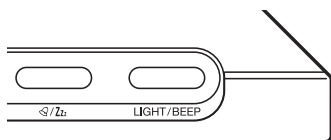
自動受信のON/OFF

標準電波の自動受信はON/OFFを切りかえられます。

- ・「☺」または「☹」マークを表示しているとき▲/⊙を長押しすると、「☺」または「☹」マークが消え、標準電波の自動受信がOFFになります。
(操作音がONの場合、長押しで「ピッ」と鳴りますがそのまま押し続け、再度「ピッ」と鳴るまで長押ししてください。)
- ・「☺」または「☹」マークを表示していないとき▲/⊙を長めに長押しして12/24h表示を設定すると、「☺」マークが点滅し、標準電波受信を開始します。
(標準電波の自動受信 ㊦ P.10)

バックライトのON/OFF

表示部のバックライトはON/OFFを切りかえられます。



LIGHT/BEEPを押すとバックライトが点灯し、再度
LIGHT/BEEPを押すと消灯します。

お知らせ

約30秒OFFしなければ、自動で消灯します。
(オートオフ)

手動で時刻とカレンダーを設定

本器は手動で時刻とカレンダーを設定することができます。

お知らせ

- ・再設定中に約30秒何も操作がなく、通常画面に戻った場合、設定した内容までを反映し表示します。
- ・「☑」マークを表示し、標準電波が受信可能でも時刻とカレンダーの設定は可能です。設定した場合、その時刻とカレンダーで時刻を刻み始めます。

(例:AM11時58分00秒)



カレンダーの設定につづく

12/24h表示を設定する

1

SETを長押しすると「12h」を表示します。
▲/◎を押して「12h」または「24h」表示を選択し、SETを押して決定します。

お知らせ

操作音がONになっていると、ボタンを押すごとに「ピッ」と鳴ります。(操作音のON/OFF P.19)

時刻を設定する

2

「時」が点滅したら▲/◎を押して「時」を合わせ、SETを押して決定します。

お知らせ

▲/◎を長押しすると早送りできます。

3

「分」が点滅したら▲/◎を押して「分」を合わせ、SETを押して決定します。

手動で時刻とカレンダーを設定(つづき)

(例:2025年7月18日)



西暦を設定する

4

西暦の「下2桁」が点滅したら▲/○を押して西暦を合わせ、SETを押して決定します。
(設定範囲:2025~2070年まで)

お知らせ

表示が「20--」のとき、SETは押せません。
▲/○を押して西暦を合わせてください。

日時を設定する

5

「月」が点滅したら▲/○を押して「月」を合わせ、SETを押して決定します。

6

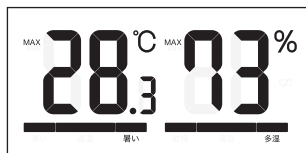
「日」が点滅したら▲/○を押して「日」を合わせ、SETを押して決定します。
日付を設定すると、自動的に曜日を表示します。

お知らせ

- ・電池をはずすと時刻・カレンダーはリセットされるため、再度設定してください。
- ・時刻とカレンダー、アラーム時刻を設定するとき、合わせたい数字を過ぎると戻すことができません。▲/○を押し続けると、例えば西暦入力では2070まで進み、▲/○を押すと2025に戻ります。

最高・最低温湿度 (MAX/MIN) の表示

本器は約20秒ごとに温湿度を測定し、最高・最低温湿度を自動的に記録します。



1

MAX/MIN を押します。

温度と湿度の左側に「MAX」と表示され、最高温度と最高湿度を表示します。

お知らせ

約8秒何も操作がないと、現在の温湿度表示に戻ります。

2

もう一度 MAX/MIN を押します。

温度と湿度の左側に「MIN」と表示され、最低温度と最低湿度を表示します。

3

もう一度 MAX/MIN を押すと、「MAX」「MIN」は消え、現在の温湿度表示に戻ります。

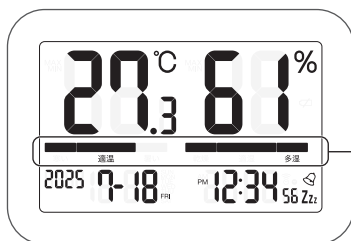
最高・最低温湿度 (MAX/MIN) のリセット

「MAX」または「MIN」表示のとき、MAX/MINを長押しすると、最高・最低温湿度がリセットされます。

お知らせ

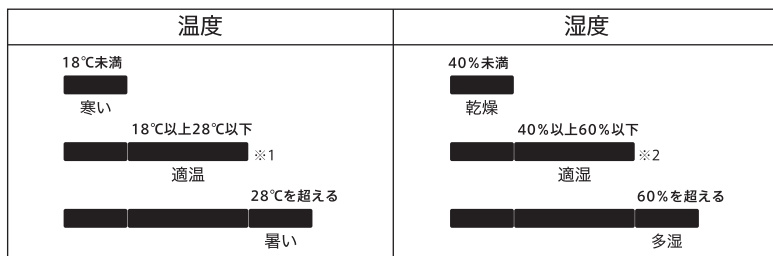
- ・リセットした記録は元に戻りません。
- ・最高・最低温湿度の表示は、リセットしたときからの記録です。
- ・1日の中で最高・最低温湿度を知りたい場合、1日のはじめにリセットしてください。
- ・電池をはずすと記録はリセットされます。

環境判定



温度・湿度の測定結果をバー表示で環境判定します。クールビズやウオームビズなど、環境に配慮した服装や、お部屋の環境管理のための目安としてください。

適温・適湿の見かた



※1. 出典：アメリカ暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) が発行している ASHRAE Standard 55-2017 Thermal Environmental Conditions for Human OccupancyよりPMVとPPDを使って計算しています。

※2. 出典：米国暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) より「健康に最適な相対湿度範囲」

適温範囲は上記の適湿範囲内（湿度40%以上60%以下）で、PMVとPPDの評価が「やや寒い」から「やや暑い」の範囲内（PMV-1以上1以下、かつPPD25%未満）としています。

評価	非常に寒い	寒い	やや寒い	どちらでもない	やや暑い	暑い	非常に暑い
PMV	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3
PPD	99%	75%	25%	5%	25%	75%	99%

※数値を出す際の温湿度以外の要素
 ・放射熱：温度と同じ
 ・気流：0.1m/s
 ・活動量：1.3met
 （座って読書やデスクワーク程度）
 ・着衣量：冬1clo、夏0.5clo

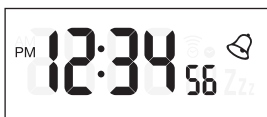
- PMVとは予測平均冷感申告と言い、人がどれくらい快適かを表す指標で、温度、湿度、放射、気流、活動量、着衣量の6つの要素から算出され、人がそのとき暖かいと感じるか、寒いと感じるかを「7段階評価尺度」による数値で表しています。
- PPDとは予測不快者率と言い、ある暑さ（または寒さ）のときに何%の人がその環境に不満があるかを表しています。

PMVとPPDはデンマーク工科大学のファンガー (P.O. Fanger) 教授が、1967年に快適方程式の導出を提案し、1994年に国際規格 (ISO7730) になっています。

アラーム時刻の設定

本器は、1日に1回アラームを鳴らすことができます。目覚ましや定時のお知らせなどに活用してください。

(例:AM6:30)



1

☞/Zz を長押しすると「RL」と設定されているアラーム時刻を約5秒表示します。

お知らせ

アラーム時刻が設定されていない場合、初期状態の「^{AM}12:00」または「0:00」を表示します。

アラーム時刻を設定する

2

アラーム時刻を表示しているときに☞/Zzを押すと、アラーム設定表示になります。「時」が点滅したら▲/◎を押して「時」を合わせ、SETを押して決定します。

お知らせ

- ・▲/◎を長押しすると早送りできます。
- ・設定中に約30秒何も操作がなく、通常画面に戻った場合、設定した内容までを反映しアラーム時刻を設定します。

3

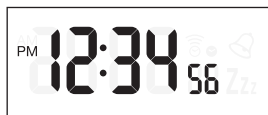
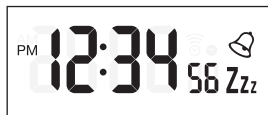
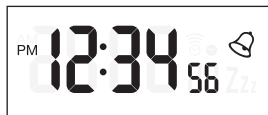
「分」が点滅したら▲/◎を押して「分」を合わせ、SETを押して決定します。
設定が完了し、アラーム時刻を5秒表示したあと、時計表示に戻ります。

お知らせ

電池をはずすとアラーム時刻はリセットされますので、再度設定してください。

スヌーズのセットとアラームの解除

(P.17のつづき)



1

「」マークを表示しているときに  / **Zz** を押すと「**Zz**」マークを表示し、スヌーズをセットします。

お知らせ

スヌーズをセットすると、5分間隔で約30秒アラームが2回鳴ります。

2

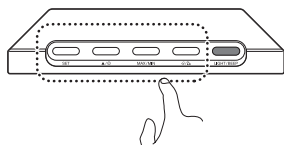
「」と「**Zz**」マークを表示しているときに  / **Zz** を押すとマークは消え、アラームとスヌーズは解除されます。

3

再度アラームをセットするときは、 / **Zz** を押すと、1のように「」マークを表示しアラームがセットされます。

アラームを止める

セットした時刻になると、アラームが鳴ります。



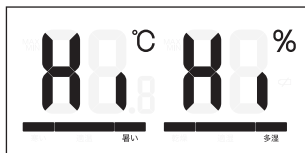
1

バックライト以外の操作ボタンを押すと、アラームが止まります。

お知らせ

- ・約30秒何も操作がないと、アラームは自動的に止まります。
- ・アラームを止めたあとも「」マークは消えません。アラームを解除しない限り、毎日同じ時刻にアラームが鳴ります。(上記アラーム解除)

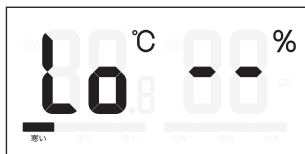
その他の表示



測定範囲以外で
温度が50.0℃を超えたとき、
湿度が95%を超えたときに表示します。



測定範囲以外で
温度が-9.9℃未満のとき、
湿度が20%未満のときに表示します。

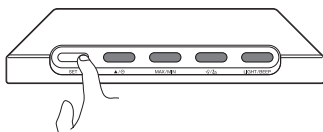


温度が「H」または「Lo」を表示したとき、
湿度は「--」を表示します。

操作音のON/OFF

時刻やカレンダー、アラーム設定時の操作音のON/OFFを切りかえられます。

※操作音をOFFにしてもアラームは鳴ります。



操作音を確認する

通常表示のとき、SETを押して「ビッ」と鳴ったら、操作音はセットされています。鳴らない場合はセットされていません。

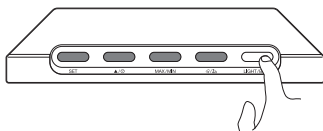
操作音を設定する

ONにする場合

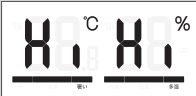
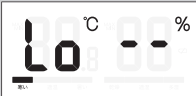
LIGHT/BEEPを長押しするとバックライトが点灯し「ビビッ」と鳴って操作音がONになり、バックライトが消灯します。

OFFにする場合

LIGHT/BEEPを長押しするとバックライトが点灯し「ビッ」と鳴って操作音がOFFになり、バックライトが消灯します。



故障かな?と思ったら

温度・湿度の測定値が異常に高い、あるいは低い	適した場所に置いていなかったり、通気口がふさがっていませんか。設置方法を確認してください。	P.4
	温度が-9.9℃未満のとき、湿度が20%未満のときに表示します。	P.19
	温度が50.0℃を超えたとき、湿度が95%を超えたときに表示します。	P.19
	温度が「H」または「Lo」を表示したとき、湿度は「--」を表示します。	P.19
温湿度の表示が変わらない	冷蔵庫に約10分入れて、表示が変わるかを確認してください。表示が変わらない場合、電池をはずしてしばらくして、電池を入れなおしてください。	—
不明な内容を表示する	電池をはずしてしばらくして、電池を入れなおしてください。	—
「  」が点滅する	電池が消耗しています。	P.8
「Lo」と「  」が点滅する	電池がなくなりました。すみやかに新しい電池と交換してください。	P.9
電池を入れたのに何も表示しない	電池の極性(⊕、⊖)をご確認ください。	P.9
	電池が消耗しています。新しい単3形アルカリ乾電池(LR6)と交換してください。	P.9

仕 様

測定範囲	温 度	-9.9～50.0℃、 -9.9℃未満のとき「L _o 」、50.0℃を超えたとき「H _i 」
	湿 度	20～95%、 20%未満のとき「L _o 」、95%を超えたとき「H _i 」
測定精度	温 度	0.0～40.0℃ ±1.0℃ それ以外±2.0℃
	湿 度	35～75% ±5% それ以外±10%
最小表示	温 度	0.1℃単位
	湿 度	1%単位
表示周期	約20秒に1回	
機 能	環 境 判 定	寒い:18℃未満 適温:18以上28℃以下 暑い:28℃を超える 乾燥:40%未満 適湿:40以上60%以下 多湿:60%を超える
	MAX/MIN	最高・最低温湿度をリセットされるまで記録
	時 計	12/24時間切替
	カレンダー	年月日・曜日
	ア ラーム	約30秒鳴動
	ス ヌーズ	5分間隔で約30秒鳴動(スヌーズの回数は2回)
	バックライト	ON/OFF
時計精度	操 作 音	ON/OFF
	電波時計:±1秒以内(電波受信による時刻修正の直後) 手動設定の時計:平均月差±60秒以内(23℃±5℃)	
電 源	3V DC 単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本	
電池寿命	約1年(1日3回アラームを約30秒鳴動の場合)	
寸 法	約 幅186 × 高さ127 × 奥行43mm	
質 量	約 495g(乾電池含む)	
主な材質	ABS、PMMA	
付 属 品	取扱説明書(保証書付)、お試用電池(単3形アルカリ乾電池(LR6)×2本)	

※デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。

本器の廃棄について

お住まいの市区町村の定めにしたがって、電池を抜いてから廃棄してください。廃棄について不明な点がある場合は、お住まいの市区町村に相談してください。小型家電リサイクル法に基づき、お住まいの市区町村または、認定事業者による回収に協力をお願いします。

アフターサービスについて

本器の故障などについて、無料修理規程のもとで無料修理をお約束いたします。

修理を希望される場合は以下に示す内容をよくお読みいただき、弊社お客様サービス相談室に連絡してください。

1. 無料修理の保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年です。お買い上げ日は、販売店が保証書に記入した内容か、購入証明書（購入時のレシートなど）で証明いただけますので、いずれかを大切に保管してください。

2. 無料修理の保証範囲について

保証範囲は、無料修理規程に示されている条件を確認してください。

3. 修理のご依頼について

保証期間中の依頼は、弊社お客様サービス相談室に連絡のうえ、お買い上げ日が記入された保証書もしくは購入証明書（購入時のレシートなど）を本器に添えてお送りください。保証期間を過ぎてからの依頼は、弊社お客様サービス相談室に相談してください。修理によって本器の機能が維持できる場合は、希望により有料修理させていただきます。

4. 不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

無料修理規程

1. 取扱説明書などの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

2. 贈答品などで購入証明ができない場合は、弊社お客様サービス相談室に相談してください。

3. 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。

イ、使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損

ロ、お買い上げ後の落下などによる故障および破損

ハ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および破損

ニ、保証書の提示がない場合

ホ、一般家庭用途以外に使用された場合の故障および破損

ヘ、保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

4. 本規程は、日本国内においてのみ有効です。本器を日本国外で使用される場合、無料修理を含めたすべての対応の対象外となります。

5. 本規程は、定められた期間や条件のもとで無料修理をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間が過ぎている場合の修理については、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

個人情報の取り扱い

1. 修理対応にあたり、お客様の個人情報を提示いただく場合があります。

2. お客様から提示いただいた個人情報は修理対応に使用させていただき、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規程に基づき、責任をもって管理いたします。

保証書

販売店様へ

販売時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)を記入のうえ、お客様にお渡しください。

お客様へ

販売店名とお買い上げ日の記入が無い場合は、無料修理をお約束できません。その場合は購入証明書(購入時のレシートなど)で代替して証明いただけますので、本人様の情報を記入いただいた保証書とあわせて提示してください。

品名	デジタル温湿度計 TT-P03
保証期間	お買い上げ日より1年
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所
	お名前 様
	お電話 ()
販売店	店名・所在地
	電話 ()



株式会社 **タニタ**

本社・お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

ホームページアドレス <https://www.tanita.co.jp/>

お問い合わせ先

フリー
ダイヤル

 **0120-133821**

携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビ
ダイヤル

 **0570-783551**

通話料はおお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～17:00 (祝日を除く月～金)

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1